

質問順位	1	質問者	寄谷猛男議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
1. 新型コロナウイルス感染症対策	1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため幅広い行政検査の実施について	<p>1. 新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見通せていない。インバウンドに力を入れている本市には多くの国から外国人が訪れ、また道内各地のみならず本州から多くの若者も訪れる。その中には無症状の新型コロナウイルス感染者が存在するかもしれない。</p> <p>感染拡大を防止するために、発症している感染者やその濃厚接触者だけではなく、無症状の新型コロナウイルス感染者を見逃すことなく早期に発見し対応する取り組みが各地で行われている。当市においても、現に感染者が発生した場合は、関係者を幅広く行政検査し感染拡大を抑え込む体制をつくるべきと考えるが、市の考えを伺う。</p>			
	2. 感染拡大防止策の一環としてのインフルエンザ予防接種費助成について	<p>1. インフルエンザと新型コロナウイルス感染症は感染症状が似ている。新型コロナ対策としてもインフルエンザの流行を抑える必要があるのではないか。学校閉鎖、学級閉鎖を防ぐために小・中学校に通う子どもたちだけでも市で接種費用を負担し、予防接種を勧めることが有効と考えるが市の考えを伺う。</p>			
	3. コロナ禍での経済対策について	<p>1. 当市では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に基づき、コロナ禍においても市民の生活の足を守るために地域公共交通事業者の事業継続を支援している。そもそも事業継続が困難な局面にあるのは、外出自粛要請等を受け利用客が激減したことだけではなく、利用者の減少で日頃から厳しい事業経営事情にあるからである。したがって、市民の生活の足を守るためには一時的な支援では不十分であり、今後も利用客の増加につながる継続的な支援が必要ではないか。</p> <p>そこで、路線バス乗車賃助成の上乗せ、タクシー助成の創設など公共交通利用者へ助成することにより、市民の足として欠くことができない公共交通を守っていくべきと考えるが、市の考えを伺う。</p>			

質問順位	1	質問者	寄谷猛男議員		
件名		項目	要旨	メモ	
2. 公営住宅		1. 市営住宅の団地再編プロジェクト等について	<p>1. 市は、老朽化が進む東団地、開西団地、江南団地の3団地の整備に当たっては、既存住棟の一部を民間譲渡しサービス付き高齢者向け住宅や子育て支援向け住宅等として整備する、あるいは跡地の一部を地場住宅関連産業の活性化に資する宅地分譲など幅広い住宅施策を推進し、地区内の移住定住促進と活性化を図るとしている。</p> <p>しかし、この度実施される市営住宅東団地跡地の分譲に当たり、既存住棟を活用した子育て支援向け住宅整備については、耐震診断で規定値を超える傾きが確認されたため、既存住棟を解体し跡地を宅地分譲地とすることに計画を変更している。開西団地は全棟、江南団地は半数が東団地と同時期に造られ、同じように老朽化が進んでいると予想されるため、低廉な家賃で一定程度の広さ、居住環境を確保した住宅を供給できるか開西・江南両団地についても懸念される。</p> <p>開西団地は本年2月に耐震診断調査を委託している。耐震診断調査の内容と結果、および住宅確保要配慮者向け住宅の整備計画への影響を伺う。また開西団地は、その一部を改修してサービス付き高齢者向け住宅及び子育て世帯向け賃貸住宅として運営する再編事業候補者が決定し1年が経つ。その事業の経過と進捗状況についても併せて伺う。</p>		
		2. 建替計画の進捗について	<p>1. 最近、開西団地の入居者にアンケート調査を行ったようだが、建て替え後の公営住宅に確実に入居できるのか、入居時期はいつになるのか不安を抱えている入居者がいる。市営住宅分について計画の見直しを行うのか。江南団地についても併せて伺う。</p>		
3. 土地区画整理事業		1. 西2号通り土地区画整理事業の保留地売却価格について	<p>1. 滝川市泉町土地区画整理事業において決定された保留地の売却のお知らせが出されている。面積6,679.77平方メートル、価格22,900,000円だから㎡(平米)単価約3,400円である。平成28年度の予算審査特別委員会での清水前議員の質疑に対する答弁では、㎡(平米)単価5,000円ほどと見込んでいるので、保留地全体で1,000万円ほどの減収となる。単価設定の根拠、換地設計時の設定単価と異なるに至った理由、それによる対応を伺う。</p>		